

産婦人科におかかりの患者様へ

当院は京都府の周産期医療の拠点病院の一つとして、県民の皆様の母子保健の向上のために診療を行っています。

産後の大量出血は、現在でも母体に大きな健康障害をもたらす代表的な疾患です。大量出血に伴って起こる血液凝固障害（希釈性凝固障害と呼ばれています）の管理が重要なポイントですが、産科領域において、どの程度の出血量で希釈性凝固障害が発生するかはよくわかっていません。この度、「産後大量出血時に希釈性凝固障害を発症する出血量の検討」という題名で、この問題点に関して研究することになりましたので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

○対象

2012年1月から2016年12月までの間に、当院で出産後に大量出血をきたしたか、あるいはこの期間に大量出血を理由に当院に搬送された褥婦さん。

○調査方法

この調査研究では診療記録から以下の情報を中心に集めて行います。

- ① 褥婦さんの基本情報（年齢、身長、体重、妊娠回数、既往歴など）
- ② 血液検査情報（貧血の程度、各種凝固因子など）
- ③ 分娩時の基本情報（分娩週数、分娩方法、分娩時合併症、産後出血量など）
- ④ お子様の基本情報（性別、出生時体重、予後など）

○秘密の保持

必要な情報のみを統計資料として集計しますので、院外に皆様方のお名前や個人情報が出ることはありません。

○この調査にご自分あるいはお子様の診療記録を使って欲しくない方はお申し出ください。

この研究は、当院臨床研究審査委員会にて承認され、実施医療機関の長より研究実施の許可を受けて行っている研究です。研究実施期間は、許可日から2018年12月まで行っております。この調査にご自分あるいはお子様の診療記録を使って欲しくない方はお申し出ください。この調査のために上記の診療記録を使用することをお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。その他ご不明な点等ございましたら、下記までお申し出ください。

【研究代表者】

山口 建（やまぐち けん）

（独）国立病院機構京都医療センター 産科婦人科

TEL : 075-641-9161